

全建発第16～133号  
平成16年7月29日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木 道雄



#### 第490回建設技術講習会(コスト構造改革と工事積算(土木・建築)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第490回建設技術講習会では、公共工事におけるコスト縮減等に係わる総合的な施策(コストの観点から公共事業のすべてのプロセスを見直すコスト構造改革)の最新の情報を得ること、また、最近の多様な入札契約方式に対応した公共土木工事、建築工事における積算の動向、考え方を把握するとともに、基準等に関する新たな知識・情報を習得することを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬 具



全建発第15～271号  
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会  
研修委員長 北橋 建治  
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



### 平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



# 第 490 回建設技術講習会（コスト構造改革と工事積算（土木・建築））日程

公共工事におけるコスト縮減等に係わる総合的な施策（コストの観点から公共事業のすべてのプロセスを見直すコスト構造改革など）の最新の情報を得る。また、最近の多様な入札契約方式に対応した公共土木工事、建築工事における積算の動向、考え方を把握するとともに、基準等に関する新たな知識・情報を習得する。

会場 …… 【合同・土木】福島県文化センター（大ホール）  
 【建 築】福島県文化センター（小ホール）  
 〒960-8116 福島市春日町 5-54 TEL 024-534-9191 敬称略

## 1日目 平成16年9月29日（水）【合同】大ホール

10:10	あいさつ	福島県知事	佐藤 栄佐久
10:30	"	福島市長	瀬戸 孝 則
10:30	公共事業コスト構造改革と ユニットプライス型積算方式について	国土交通省大臣官房技術調査課	宮 武 晃 司
12:00		工事監視官	
13:00	公共工事と会計検査	元会計検査院事務総長官房	安 藝 忠 夫
14:30		技術参事官	
14:40	【地域における技術苦労話】 国道 115 号横道トンネルについて	福島県北建設事務所	福 地 敏 弘
15:10		道路グループ 主査	
15:20	【特別講演】 環境の保全と行政の役割	(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 理事	溝 口 俊 夫
16:20		鳥獣保護センター 所長	
16:20	【地域事業の紹介】 猪苗代湖 十六橋水門改修工事について	福島県喜多方建設事務所	長谷川 潔
16:40		河川・砂防グループ 課長	
17:00	あぶくま高原自動車道建設7・8工区事業概要について	福島県あぶくま高原自動車道建設事務所 主幹兼次長	及 川 満

## 2日目 9月30日（木）【土木】大ホール

9:50	建設資材・労務の積算について	国土交通省総合政策局建設振興課	田 畑 正 敏
10:50		労働資材対策室 課長補佐	
11:00	土木工事標準歩掛の改正について	国土交通省総合政策局建設施工企画課	稲 垣 孝
12:00		課長補佐	
13:00	港湾・海岸工事の積算について	国土交通省港湾局建設課建設企画室	土 佐 一 也
14:00		建設調査第一係長	
14:10	橋梁のコスト縮減と設計・積算について	国土交通省道路局国道・防災課	上 村 治
15:10		計画調整係長	
15:10	閉会のあいさつ	福島県建設技術協会 会長	佐 藤 正 人

地域の独自調査

## 2日目 9月30日（木）【建築】小ホール

9:50	公共住宅整備に求められる 性能とコストについて	国土交通省住宅局住宅総合整備課	城 戸 康 輔
10:50		高齢者住宅係長	
11:00	公的住宅の建築積算について	独立行政法人都市再生機構	澤 井 布 兆
12:00		技術・コスト管理室	
13:00	公共建築工事積算の最近の動向について	国土交通省大臣官房営繕部計画課	青 柳 厚
14:00		企画専門官	
14:10	公共建築工事積算のシステム等について	国土交通省大臣官房営繕部計画課	今 村 幸 雄
15:10		営繕技術専門官	
15:10	閉会のあいさつ	福島県建設技術協会 副会長	菊 池 光 矩

地域の独自調査

## 【現場研修】 3日目 10月1日（金）

J R 福島駅西口（8:30）出発      福島県消防学校改築整備事業 [ 福島県消防学校 ] ( 下車説明 )      不動沢橋（車窓見学）  
 十六橋水門改修工事 [ 猪苗代湖 ] ( 下車説明 )      昼食（猪苗代町内）  
 あぶくま高原自動車道建設7・8工区事業（下車説明）      J R 郡山駅（16:00）着後解散  
 福島空港（15:30）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。  
 講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

## 第490回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

### 1 福島県消防学校改築整備事業（福島県消防学校） ..... 福島市荒井字仲沢7番地

福島県消防学校は、消防組織法第26条の規程に基づき設置されることとされ、県内の消防職員、消防団員又は民間の自主防災組織等の構成員に対して消防防災に関する教育訓練を行う施設です。

現在、改築整備事業を進めており、これまで管理教育棟、宿泊棟、体育館・屋内訓練場及び水難訓練場等が完成しています。平成16年度が最終年度で、消防訓練棟、車庫棟及び放水訓練施設等を整備する予定です。

（沿革）	昭和30年	福島市太平寺に開設
	昭和46年	福島市荒井へ移転
	平成7年	改築整備事業開始
	平成17年3月	改築整備事業完成予定



### 2 不動沢橋（磐梯吾妻スカイライン） ..... 福島県福島市町庭坂地先

不動沢橋は、磐梯吾妻スカイラインのつばくる谷に架かる 橋長170mの橋（鋼上路式ローゼ桁橋）です。旧不動沢橋が老朽化したため平成12年に架けなおされました。

### 3 十六橋水門改修工事（猪苗代湖） ..... 福島県耶麻郡猪苗代町大字翁沢地先

猪苗代湖の水は、湖の西側にある会津盆地を通過して阿賀野川となり日本海に流れています。安積疏水では奥羽山脈を越えて湖水を東側に流すことから、湖の東側にある戸の口に十六橋制水門を建設し、湖の水位を保ちつつ取水するしくみになっています。建設にあたっては、全国でも屈指の石組みの名人を招いてつくられた眼鏡橋で、安積疏水の名所となっています。



### 4 あぶくま高原自動車道建設7・8工区事業

..... 福島県石川郡平田村上蓬田地先～田村郡小野町小野新町地先

「あぶくま高原道路」は、「東北自動車道」矢吹ICと「磐越自動車道」小野ICとを結ぶ延長約35kmの自動車専用道路です。平成14年9月までに矢吹I.Cから福島空港I.C間（L=13.6km）は開通しており、平田I.Cから小野I.C間（7・8工区 L=8.5km）は、平成16年度開通を目指し、工事を進めている。福島空港I.Cから平田I.C間（約14km）は、早期の事業着手を目指し測量、調査等を行っている。



## 第 490 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には福島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。  
 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。  
 宿泊予約金：宿泊予約金(1人1泊4,000円)は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。  
 送金先：(株)日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321 Fax 03(3593)0688  
 銀行口座 三井住友銀行日比谷支店 普通預金口座 2994790  
 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1(ニュー新橋ビル9F)  
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「490」をつけ加えて下さい。

取り消し・返金について

平成 16 年 9 月 17 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
" 9 月 24 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記 を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

・ 申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 16 年 9 月 28 日 (火)・29 日 (水)・30 (木) (1 泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	福島ビューホテル	静岡県福島市太田町 13-73 TEL: 024-531-1111	シングル	75 名	¥9,000
	ホテルサンルートプラザ福島	福島県福島市大町 7-11 TEL: 024-525-2211		100 名	¥9,000
	福島東急イン	福島県福島市栄町 11-25 TEL: 024-523-0109		47 名	¥8,500
	福島リッチホテル	福島県福島市栄町 2-36 TEL: 024-521-1711		50 名	¥8,000
B	えびすグランドホテル	福島県福島市曾根田町 10-6 TEL: 024-533-4166		40 名	¥7,400
宿泊斡旋人数合計				312 名	

\* 宿舎が決定次第ご通知いたします。

\* 朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

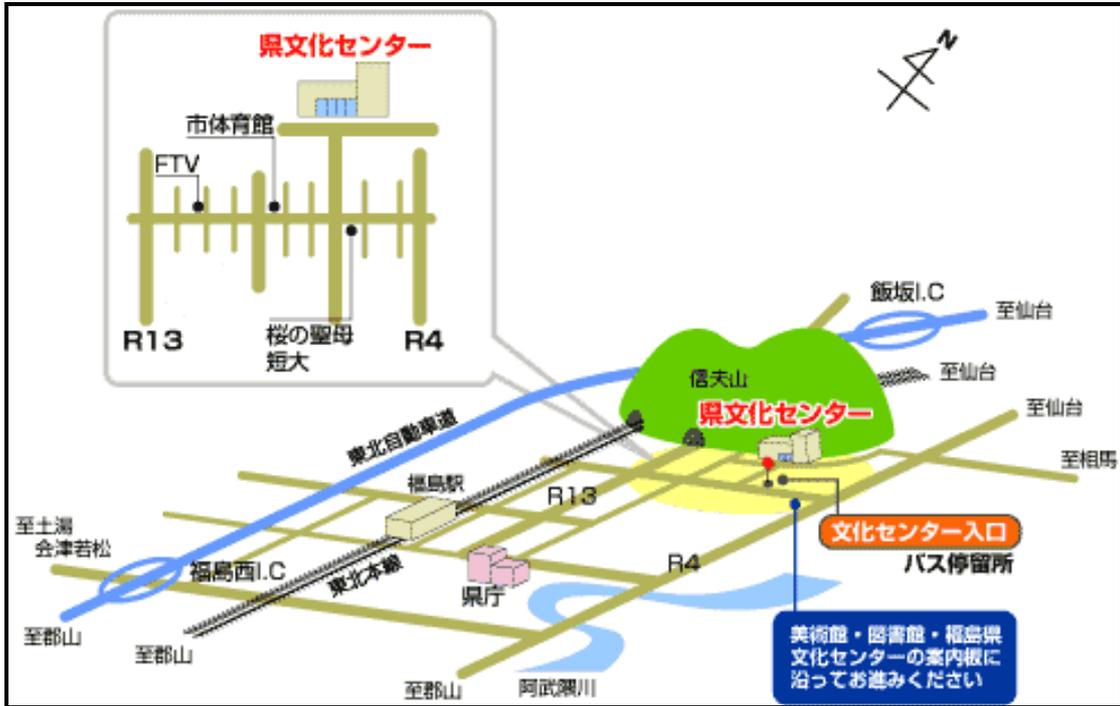
### 宿舎案内図



# 第 490 回建設技術講習会の会場案内

会場

福島県文化センター <http://www.culture-center.fks.ed.jp/>  
 福島市春日町 5-54 TEL 024-534-9191



## 交通案内

### 【市内バス】

- ・福島駅東口バス乗り場（番）より市内循環バス（1・2コース）に乗車、『文化センター入口』停留所下車。徒歩5分。（運賃100円、本数は6～10本/h、乗車時間15分程度）
  - ・福島駅東口バス乗り場（番）より「文化センター経由文知摺（もちずり）」行きに乗車、『文化センター前』停留所下車。徒歩1分。（運賃210円、本数1本/h、乗車時間15分程度）
- 福島県文化センターHP 時刻表の掲載あり <http://www.culture-center.fks.ed.jp/>

### 【増便バス】（本講習会のために9月29日（水）・30日（木）運行する増便バス）

- ・福島駅東口バス乗り場（印）より出発。途中の停留所には、停車しません。
- ・運行予定（運賃210円、乗車時間15分程度、バス数台（満車になりしだい順次出発））

	行き (福島駅東口バス乗り場 (印)発)	帰り (文化センター前発)
9/29 (水)	9:00 } 9:20	17:00 (終了後) } }
9/30 (木)	9:00 } 9:20	15:10 (終了後) } }



現場研修の集合場所（詳細）は、別途、会場でご案内します。

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成 16年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_ 印  
(特別 賛助会員名)

第 490回建設技術講習会 (コスト構造改革と工事積算 (土木 建築))申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		非 会 員 「土」「建」	昼 食 不 要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約金		
(フリガナ) 氏 名 <small>(参加者が女性の場合は番号に 囲みして下さい)</small>	年 齢		土木	建築				予約日に A又はBを 記入して下さい		
			正 会 員	正 会 員				9/28	9/29	9/30
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 (土木) 正会員 特別会員 賛助会員		名 × 9,800円 =		円	現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん。		宿泊予約金  泊 × 4,000円			
" (昼食不要)		名 × 8,200円 =		円						
建築) 正会員 特別会員 賛助会員		名 × 8,500円 =		円						
" (昼食不要)		名 × 6,900円 =		円						
土木) 非 会 員		名 × 14,800円 =		円						
" (昼食不要)		名 × 13,200円 =		円						
建築) 非 会 員		名 × 13,500円 =		円						
" (昼食不要)		名 × 11,900円 =		円						
現場研修料		名 × 7,000円 =		円	計 円					
		計		円						

非会員の申込は土木は「土」、建築は「建」と区別して記入願います。

全建に振込

日本旅行に振込

申込にあたっての注意事項

- 宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
- 申込金を銀行送金される場合、銀行振込の(写)を申込書に必ず添付して下さい。
- 申込の締切日は平成 16年 8月 30日 (月)です。
- 斡旋します宿舎は 1泊朝食付きです。
- 特別会員 賛助会員の方は正会員 (聴講者別欄) の枠内に 印を記入して下さい。
- 非会員の申込は土木 = 「土」、建築 = 「建」と区別して記入して下さい。

(昼食について)

- 昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
- 当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
- 現場研修の昼食について：  
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。